



東八千代調理場が運営を開始します

八千代市では、村上調理場と単独給食校調理室の老朽化、食物アレルギー疾患を持つ児童生徒への対応などの課題を解消するため、高度な衛生管理ができる新たな学校給食センターの整備を進めてきました。



▲食物アレルギーに対応した調理室

食物アレルギー専用の調理室を完備しています

学校給食を取り巻く環境は常に変化しており、昭和52年に開設した村上調理場や単独給食校調理室は、施設や設備の老朽化が激しく、学校給食衛生管理基準や食物アレルギーの対応などの課題を抱えていました。

これらの課題を解消するため、3年8月より工事を進めていた新たな学校給食センター「東八千代調理場」が6月末に完成しました。

同調理場は、一日約6,000食の調理能力があり、市内12校の小中義務教育学校に給食を提供します。また、食物アレルギー専用の調理室を整備し、平成



▲調理場の裏手にある搬出入口

25年4月に開設した西八千代調理場と同様に、食物アレルギー対応食を提供します。

同調理場の整備・運営にはPFI方式を採用し、従来から求められてきた「より効率的な運営」を図るとともに、民間が有する食品衛生に関するノウハウを活用することで、より安全・安心な学校給食を提供します。

また、単に調理するための施設から、防災拠点としての役割を持った施設としています。備蓄倉庫には、食料(アルファ化米)や緊急災害用煮炊き釜を常備し、災害時の炊き出しにも対応が可能となっています。

お問い合わせは
保健体育課 ☎481-0303へ



犯罪を未然に防ぐために / 地域の安全を守る 防犯指導員



わたしたちの生活を脅かす犯罪の数々。これらの被害を未然に防ぐために活動する地域のボランティア団体「八千代市防犯組合連合会」の活動を紹介します。

青色防犯パトロールカーで市内を巡回しています

お住まいの地域や外出先で、青色の回転灯を装着した車が走っているのを見たことはありませんか。これは、青色防犯パトロールカーによる、地域の防犯力向上のための巡回活動で、防犯ボランティア団体である八千代市

主な活動内容

- 青色防犯パトロールカーによる巡回
- 八千代警察署や市役所と共同で銀行やATM周辺での特殊詐欺防止啓発活動
- ふるさと親子祭りでの警備への協力
- 年末年始特別警戒パトロール
- 下校見守りパトロール など

防犯組合連合会が実施しています。

同会は、八千代町時代の昭和32年に発足し65年間活動しています。現在は、231の自治会が加入しており、同会会長によって委嘱された84人の防犯指導員が、大和田、高津・緑が丘、睦、阿蘇、村上、八千代台、勝田台の7つの地区で活躍中です。

関係機関と連携して防犯意識の向上に努めています

市内の犯罪認知件数は、平成15年をピークに減少傾向ですが、最近は特殊詐欺の被害が増加しているほか、車上ねらいや部品ねらいの被害が増加しています。次から次へと手を変えて市民の生活を脅かしているこれらの犯罪の被害を未然に防ぐため、警察署をはじめとする各関係機関等と連携し、市民の防犯意識の向上に努め、「安心・安全なまちづくり」に寄与しています。

2年度からは、子ども自身で犯罪から身を

守る「いかのおすし」(いかない・のらない・おおきな声で叫ぶ・すぐに逃げる・しらせる)啓発活動も行っています。千葉県防犯協会の協力を受けて、新小学1年生に啓発用品やチラシの配布を行うなど、八千代市教育委員会との連携を始めました。

しかしながら、最近では同会を支えてくれている自治会への加入率の低下や高齢化などにより、活動の担い手不足が進み、定員を割り込む地区も出てきており、活動に支障を来しています。

防犯指導員として活動するためには、同会に加入している自治会長からの推薦が必要です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の取り組みが大切ですので、防犯活動に興味のある人は、ご相談ください。地域内の活動を通じて、安心・安全な住みよいまちづくりにぜひ参加してみませんか。



◀過去に行ったふるさと親子祭り警備の出動式

お問い合わせは
危機管理課 ☎421-6717へ

広告